

冬号

第143号

財団法人 山梨県交通安全協会

発行所 山梨県交通安全活動推進センター TEL (055)-237-7827
〒400-0064 甲府市下飯田一丁目13-23
(ホームページ http://www.yin.or.jp/user/ankyou/)

- | | | | | |
|----------|-----------|------------|----------|-----------|
| 甲府交通安全協会 | 南甲府交通安全協会 | 小笠原交通安全協会 | 韮崎交通安全協会 | 長坂交通安全協会 |
| 鯉沢交通安全協会 | 南部交通安全協会 | 市川交通安全協会 | 石和交通安全協会 | 日下部交通安全協会 |
| 塩山交通安全協会 | 都留交通安全協会 | 富士吉田交通安全協会 | 大月交通安全協会 | 上野原交通安全協会 |

- | | | | |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|
| 自動車安全運転センター山梨県事務所 | 社団法人・山梨県トラック協会 | 山梨県タクシー協会 | 社団法人・山梨県バス協会 |
| 山梨県自動車販売店協会 | 社団法人・日本自動車連盟山梨支部 | 社団法人・山梨県自動車整備振興会 | 山梨県軽自動車協会 |
| 山梨県二輪車安全普及協会 | 山梨県自転車軽自動車商協同組合 | 社団法人・山梨県建設業協会 | |



飲んだら乗らない 原点へ

年末の交通事故防止県民運動

12月1日から31日



通行する車両一台一台に事故防止を呼びかける南甲府交通安全協会の役員ら = 甲府市中小河原町の新々平和通り

交通安全カレンダー

- 12月1日~31日 年末の交通事故防止県民運動
- 平成15年
- 2月 交通安全推進県民大会
- 5月 春の全国交通安全運動
- 6月 交通安全子供自転車山梨県大会
- 7月 夏の交通安全防止県民運動
- 9月 秋の全国交通安全運動
- 10月 山梨県中学生交通安全弁論大会

年末の交通事故防止県民運動が、十二月一日から三十一日までの三十一日間実施されています。年末は、慌ただしさも加わるほか、交通が混雑し飲酒の機会も多くなり、例年交通事故が増加します。

県内の交通事故死者数は十月末現在、大幅に減少していますが、一方、発生件数、傷者数はともに過去最高だった昨年をさらに上回る状況となっています。

このような状況の中、今回の運動の重点を①飲酒運転の絶滅 ②高齢者の交通事故防止 ③若者による無謀運転及び暴走族の追放 ④シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底の四点として運動を進めています。家族そろって健康で新しい年を迎えることができるよう県民一人ひとりが交通ルールとマナーを順守し、交通事故防止に努めましょう。

内容紹介

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 2面 高齢者の事故防止へ注意点 | 6面 各地区安協の活動 |
| 3面 道交法改正後の飲酒運転の摘発状況 | 7面 県中学生交通安全弁論大会 |
| 4、5面 各地区安協の活動 | 8面 協賛団体の交通安全活動 |

交 差 点

見通しの悪い交差点では、出合い頭の事故が多く発生しています。また、事故にならなくても「ヒヤリ」とする場面は経験していることと思います。

- 交差点事故の形態は
 - ・ 出合い頭衝突事故
 - ・ 右左折時の側面衝突事故
 - ・ 左折時の巻き込み事故
 - ・ 追突事故

が多く発生しています。

▼もとより、交差点は縦、横の交通が交じわり合い、見通しが悪く右左折車や横断歩行者などが混在する危険の多い場所です。

▼交差点では、車相互の優先関係がはっきりしない場合もあり、譲り合いの精神を忘れて双方の車が先を争って交差点に入ろうとすれば、当然、交通事故や交通混乱が発生させることとなります。

- ▼これらの事故防止の一つとして、カーブミラーが設置されておりますが、カーブミラーは
 - ・ 近づく車両があっても距離感がつかめず進入する
 - ・ 雨や風など天候に左右される
 - ・ 夜間は、特に見落とし、見誤りがある

など、たくさんの方の注意点があります。

▼目視による確認、カーブミラーによる確認、それぞれに長所と短所があることを十分理解しながら、交差点に入るときはのぞき込むような姿勢で視野を広くとり、交差点道路の状況を目や耳でしっかり確認するなどして安全運転を心掛ける必要があると思えます。

高齢者の事故防止 ことに注意

夜間外出 身近な道 横断 運転中

安全で快適な交通社会の実現を

県警本部長 金山 泰介



わが国のモータリゼーションは急激な発展を遂げ、現在は自動車による計り知れない恩恵を受けていますが、残念ながら、その一方で悲惨な交通事故により、毎年多くの命が失われ、多くの人が負傷している現実を忘れてはなりません。

おける人身交通事故は七千四百八十九件、物損交通事故は一万九千九百九十九件であり、交通事故に遭遇した全事故当事者は約五万三千五百人となります。これは、県の総

点付近やカーブでの事故が全体の半数を超え、死亡事故も多発していることです。

こうした事故を防止するため、県警では年間の重点施策に「交通死亡事故防止対策の推進」を掲げ、道路管理者と連携した交通安全施設の整備促進などによる、交差点・カーブの事故防止対策の普及や効果的な活用及び参加型・体験・実践

このため、県・市町村をはじめ関係団体と緊密に連携し、県民生活の一番身近な危険である交通事故をなくし、安全で快適な交通社会を実現するため、県民の皆さんに協力をお願いいたします。

八田村の運転免許センターと都留分室、各警察署では、毎年の年末年始、運転免許の更新手続きをする人が多いため、窓口に駐車場が大変混雑します。

年末年始は混雑します 免許更新お早めに

運転免許センター

月一日の道交法改正により、誕生日の前一月と後の一月となり、誕生日が十二月下旬または一月上旬の方は年末年始の混雑時を避けて早めに行うか、一月中旬以降の更新をお勧めいたします。

人口からみまると、年間一六・六人に一人が交通事故の当事者であるという高い確率になります。どうか、県民の皆さんには、交通事故に遭遇する確率、危険性がこのように高

の要因については、次のように分析しています。

・一点目は、先に説明した通り、道路交通の過密化が進んでいることです。

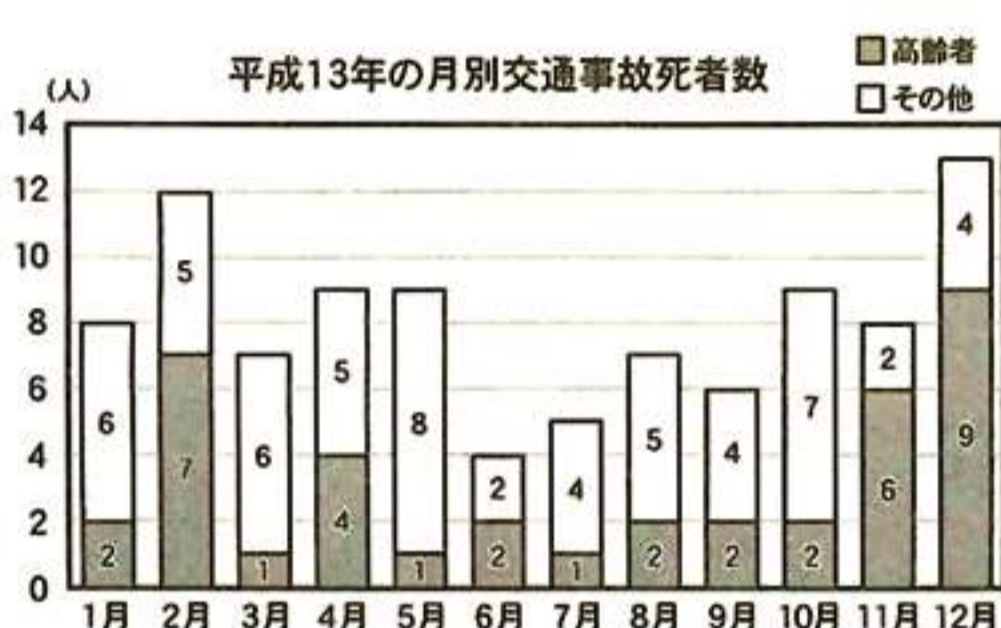
・二点目は、交差点、交差点を持つて渡りましょう。

・黄信号や青信号の点滅中は、次の信号まで待ちましょう。押しボタンス式の信号機では、信号が青に変わってから

・近くに横断歩道がある時は、横断歩道を利用しましょう。

・斜め横断はやめましょう。駐車車両の直前直後から

・前方、左右、後方の安全をよく確認しましょう。



平成十三年に県内で交通事故で亡くなった方のうち、約40%が六十五歳以上です。特に十一月、十二月は高齢者の事故が多発しています。

○死亡事故の七割以上は自宅から一キロ以内の身近な道路で起きています。いつもの通りの慣れた道路でも十分に気を付けましょう。

○死亡事故の八割以上は道路横断中に起きています。次の点に気を付けましょう。

・左右をよく確認し、余裕

・歩行者の注意事項

・歩行者の注意事項



もみじマーク

シートベルト着用 運転席で90%台

10月調査 山梨、全国16位に上昇

今年十月に、全国九百四十五カ所を警察庁と日本自動車連盟が合同で実施したシートベルトの着用率調査の結果がまとまりました。

Table showing seat belt usage rates in Yamanashi Prefecture (平成14年) for general roads and expressways, including driver, passenger, and rear seat categories.

Table showing national seat belt usage rates (平成14年) for driver seats across all 47 prefectures, with Yamanashi at 90.1% (16th place).

飲酒運転 2割減る

道交法改正から4ヵ月間の県内

罰則強化が抑止効果

道路交通法改正が六月一日に施行されて約半年が経過しました。九月末までの四ヶ月間の状況をみると、飲酒運転など悪質な交通違反の罰則強化により、県内で飲酒運転(酒酔い・酒気帯び)で摘発されたのは六百七十七人、前年比で六百三十三人、19・4%減少しました。一方、行政処分の件数は違反点数が引き上げられたため、免許取り消しが前年の約二倍の百十三件に上るなど行政処分者が増加しました。

改正後の飲酒運転の摘発の内訳は、酒酔いが九人で一人減少、酒気帯びは六百六十八人で百六十二人減少しました。このうち新基準(呼气1以上のアルコール濃度0・15



安全運動出発式で県庁前に整列した交通安全支援要員

件に対し、今年は六十件と大幅に減少しました。しかし、死亡事故で悪質な飲酒事故も四件と目立っています。

10・24(ミ)で摘発されたのは百四十八人で、全体の22・2%を占め、0・25(ミ)以上は五百二十人でした。飲酒運転による人身事故の発生件数は、前年同期は百六

懲役または五十万円以下の罰金にそれぞれ強化されました。

一方、違反点数の引き上げによって悪質な違反である酒酔い運転が十五点から二十五点に、酒気帯び運転が六年から十三点に、無免許運転が十三点から十九点などに改正されたことから、免許取り消しや免許停止の行政処分件数が大幅に増加しました。免許取り消しは百十三件で五十三件の増加、九十日の免許停止は四百四十六件で百八十四件の増加、六十日の免許停止は二百七十六件で五十五件増加しました。

飲酒運転の摘発件数などが

夕暮れ時は早め点灯を推進中

夕暮れ時は早めにライト点灯を。山梨県警察本部は交



夕暮れ時は早めにライト点灯を。山梨県警察本部は交通安全の多発する夕暮れ時の対策として、早めに車のライトを点灯する運動を推進しています。夕暮れ時は日没前と日没後の視界が異なり、人や車の発見が遅れがちになるこ

とから、事故が多発しています。早めの点灯運動は、ライトを早めにつけることで自分の車の存在を歩行者や他の車に早く知らせ、注意を喚起して事故減につながりようというものです。

運動を広く運転者や県民に知ってもらうため、車両用ステッカーや、早め点灯時間の目安を記したポスターを配布して周知を図っています。

▽点灯時刻の目安
12月-16時、1月-16時30分、2月-17時、3月-17時30分、4月-18時、5-8月-18時30分、9月-17時、10月-16時30分、11月-16時

交通安全イベント・街頭活動に

支援要員が大活躍

山梨県交通安全協会では、緊急地域雇用創出特別事業の一環として県警からの委託を

受け交通安全支援事業を行っています。

交通安全支援事業は交通マナーアップ活動、街頭指導保護活動、違法駐車及び駐輪対策活動、各種調査活動を目的に今年二月一日から実施し、さまざまな成果を上げています。

・本県のシートベルト着用率は、昨年まで三年連続全国でワースト一位と不名誉な状況でしたが、今年の調査では90・1%の着用率を記録して全国十六位に大躍進しました。交通安全支援要員の昼夜を問わない啓発活動が、その原動力となりました。

・甲府警察署管内交通安全支援要員は、県庁で開催された秋の全国交通安全運動の出席式に参加し、天野知事の前で参加者の代表として力強く交通安全の誓いを宣言しました。また、各警察署の支援要



県警交通企画課長 落合一雄

交通安全事故の減少策を推進



安全のために

本県の昭和三十一年以降の交通事故死者数の推移を調べたところ、昭和四十四年が二百二十七人と過去最高で、最少は平成十二年の八十一人でした。

交通安全事故を抑止する方法としては、シートベルトの着用率の上昇や車両の装備、特にエアバッグの装着、ABS付きブレーキの装備などの充実、さらには医療技術の高度化などがあげられています。また、それにも増して交通関係団体、特に交通安全協会のボランティアによる街頭監視活動などドライバー、歩行者ら道路利用者への交通安全啓発が相当のウエー

一位と不名誉な記録を残しました。今年十月三十一日現在、県下の交通事故の発生状況は交通事故死者数は五十三件五十六人と前年比マイナス十七件、マイナス二十

間、また、年代別では高齢者の死亡事故が多発するなど予断を許さない情勢にあります。今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

用率が相変わらず低く、死者のシートベルト着用対象者二十六人中、着用者は十人(着用率38・5%)です。このため、県警察としては

減少したことは、道交法改正で罰金などが大幅に引き上げられたことが県民に周知され抑止効果となっているのでは

このように、交通安全支援要員は県内の交通安全・事故防止のため大活躍しています。

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

今年度の交通安全事故の特徴としては①高齢者が犠牲となった事故

安協から

■ 安協から
 安協交通安全協会の管内は、北に八ヶ岳、東に茅ヶ岳、西に甲斐駒ヶ岳、南は富士を仰ぐ自然に恵まれた美しい地域であり、管轄市町村は韮崎市、双葉町、須玉町、明野村の一市二町一村、道路網は、中央自動車道をはじめ、国道20号、141号のほか、主要地方道数本が縦横に設置されていることから、県内外からこれらの道路を利用する車両は多く、これに比例し

て交通事故も年々増加し、なかでも子どもと高齢者の事故及び飲酒運転による事故が増加しており、これらの事故を防止することが緊急対策として

地域の交通安全事故を減らす

急の課題であると考えています。こうした情勢を踏まえ、当交通安全協会は、警察及びその他の交通関係団体などと協力して、従来の活動に加え、当面、次の事故防止の開催と夜間外出時における反射

止対策を強力に推進しているところですが、子どもと高齢者の事故防止対策として、まず、子どもと高齢者の事故防止対策として、



材の貼付活動の強力な推進
 ○登下校時における実践的な交通指導と交通安全教育の推進
 などを実施しています。

○各地域の交通信号機を活用し、地域に根ざした実践的な危険予知能力などの習得
 ○高齢者に対する交通安全教室の開催と夜間外出時における反射

は
 ○運転代行、タクシー代行の積極的な活用
 ○「ワン・ナイト・ステイ」(仮称)方式(近隣のホテル・旅館などに協力してもらい一泊五千円程度で宿泊できるシステム)の活用などの施策を引き続き強力に展開していくこととしております。

これからの、われわれ交通安全協会が一体となって、地域の交通安全の絶無を目指して日々努力をしていきます。

保育士渡辺さんが一日女性警察官に

○…富士吉田



富士吉田交通安全協会(湯

山喜六会長)は、管内の主要道路四力所で管内の交通関係機関・団体と共同で街頭指導所を開設し、ドライバーなどに安全運転を呼び掛けまして街頭指導所でチラシやしゃもじなどを配布し、「交通安全ランドゴルフ大会」では交通安全を呼び掛けるとともに、競技に対する激励のあいさつを行いました。

一日女性警察官として、子どもたちに交通安全を呼びかける渡辺さゆりさん

また、管内の老人クラブ、高齢者学級の役員を対象に反射材付きウインドブレーカーを配布、各地区での交通安全リーダーとして機会あるごとに指導を行っていただくこととなりました。



児童が作った標語安全広告塔へ掲示

○…大月

大月交通安全協会(山下道男会長)は九月二十四日、警察署前の国道20号で管内の交通関係機関・団体と協力して大規模街頭指導所を開設、通行車両のドライバーに交通安全用品やチラシなどを配布して呼びかけを行いました。中



児童が作った標語安全広告塔へ掲示
 中央大月インター入り口の広告塔へ笹子小学校児童の作った標語「その命よそみ一つ」

アピールボード危険個所に設置

○…都留

都留交通安全協会(石原滋会長)は、道志支部と合同で、道志村内の国道413号の急カーブで、二輪車の死亡事故の点検を行いました。

広告塔に掲載する安全標語を作り、記念品を贈られる笹子小児童(上)。高齢者を対象に開かれた講習(下)

でなくし「チャウ」を登載、児童に対し記念品を贈りました。九月十二日には初狩町の高齢者を対象に高齢者講習を実施し、反射材の使い方など説明し、高齢者の交通事故防止を呼び掛けました。



また、各支部では夏中生い茂った樹木などで見にくくなったカーブミラーの清掃やガードレールなど安全施設の点検を行いました。

安協女性部員が手縫いの品を配布

○…上野原

上野原交通安全協会(和田博夫会長)は九月十三日、丹波山村の高齢者を対象に「さちかぜ号」による高齢者交通安全教室を開催。同二十九日には小学生・保育園児ら三百

人が参加して交通安全落書きコンクールを開催しました。各支部では連日、街頭指導所を開設し、危険個所点検や黄色い羽根の配布を行いました。また、同安協女性部(菱山フジエ部長)は、ドライバーにリラックスして安全運転をしてみようという部員七人が手縫いでおお袋を作製し、秋の交通安全運動期間中に街頭指導所などで配布しました。

★各種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝夕方日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
(免許センター内)
TEL(055)285-0752

啓発の成果 年末へ近づなぐ



街頭指導所でドライバーに安全運転を呼びかける上野原安協の女性部員ら

事故ゼロ 集い・学び・誓う

秋の全国交通安全運動 地区安協の活動

秋の全国交通安全運動は九月二十一日から三十日までの十日間、「やめようよ、自分のルールで走るの」をスローガンに繰り広げられました。運動の重点項目は「高齢者の交通事故防止」「シートベルトとチャイルドシート」の着用徹底、「飲酒運転など悪質・危険な運転の追放」の三点。県警のまとめによると、期間中の人身事故は百六十四件、死者は二人、負傷者は二百二十七人で、前年の期間中と比べ、件数と負傷者がそれぞれ二十三件、十六人減少し、死者は一人増えました。各地区安協の活躍ぶりを紹介します。

フェスティバルで 300人が「安全誓う」

○長坂



「交通安全フェスティバル2002in長坂」に参加して交通安全について学ぶ園児や高齢者

長坂交通安全協会(伊藤重 会長)は九月二十七日、長坂町農村環境改善センターで交通安全フェスティバル2002in長坂を開催しました。約三百人が参加して「交通安全の開催、交通安全パレードの実施、白バイ・シートベルト体験の展示・試乗などが行われました。また、高齢者を対象とした交通安全ゲートボール大会を長坂町で九月二十五日に開催して約二百五十人が参加、同二十三日・二十六日には高根町で交通安全出前講話を開きました。



藤崎安協の役員らから交通安全について体験的に学ぶ高齢者ら

高齢者を対象に 体験的な安全教室

○藤崎

藤崎交通安全協会(深沢正樹会長)は九月二十四日、須玉町のふれあい館、同三十日に双葉町の百楽泉で高齢者モデル地区交通安全教室を開催しました。

教室では交通安全講話や専門交通指導員らによる交通安全全寸劇、運転適性検査など体験的交通安全教室を実施しました。参加者には、高齢者向けパンフレット、反射材付き帽子、双葉町からは反射材付きマフラー、百楽泉の無料入浴券を配布し、交通安全を呼び掛けました。

安心なまちづくり 若者が自由トーク

○小笠原

小笠原交通安全協会(名取和久会長)は九月二十八日、



「安心なまちづくり」をテーマにフリートークする峡西地域の高校生ら

来年四月一日に峡西地区六町村が合併するのを控え「六町村が安全で安心して暮らせる

スポ少の団員が カーブミラー清掃

○石和

石和交通安全協会(杉田睦彦会長)は、石和町内のスポ



カーブミラーを清掃するスポ少団員ら

少年団員に交通安全を呼び掛けるため学校周辺の交通安全設備(カーブミラーなど)や道路の清掃を行いました。団員は初めてのボランティア活動を行い、「大変だけれども楽しかった。事故が一件でも減るように」と笑顔で話していました。

また、同安協は三色旗(三百九十本)を各支部に配布し、主要地点に立てて安全運転を呼び掛けました。

早めのライト点灯 訴える広告塔掲示

○日下部

日下部交通安全協会(天野経廣会長)は、三富村が高齢者交通安全モデル地区に指定されていることから、九月十



日下部署前に掲出された「早めのライト点灯」を呼びかける広告塔

日、同地区の高齢者約百五十人を集めて「高齢者交通安全モデル地区結成大会」を開催、交通安全講習や、代表者による交通安全宣言、夜間反射材の配布などを行いました。また、運動期間中、高齢者の交通事故を防止するために、夜間反射式「早めのライ



ト点灯」及び「シートベルト着用の推進」懸垂幕を製作し、国道140号の通行車両に対して交通安全を呼びかけるため警察署前広告塔に掲示しました。

3カ所で街頭指導 安全啓発品を配布

○塩山

塩山交通安全協会(橋爪進会長)は九月二十日、塩山駅

前、勝沼町役場前、国土交通省大和出張所前で各市町村や交通関係団体と協力して街頭指導所を開設し、通行車両一台一台に交通安全啓発用品などを配布して交通安全を呼び掛けました。

同二十八日には塩山自動車教習所で管内の高齢者十六人が参加して高齢者安全運転コンクールが開かれ、運転適性検査・動体視力検査の後、場内コースで運転操作・法規履行状況などをチェックする走行試験を行いました。

通行車両に交通安全啓発用品を配る塩山安協の役員

引越のことなら
まずお電話を!



ISO9002 認証取得
松本引越センター 関東甲信地区事業所
松本引越センター
山梨営業所
TEL. 055-222-0222
0120-22-0222
中巨摩郡玉穂町新居330-7

地区安協の活動

山梨ハローレー会が交通安全パレード

○：市川

市川交通安全協会（八木吉治会長）は九月二十一日、秋の交通安全運動を盛り上げるために、厳しい会則を定めて交通ルールの順守を徹底している「山梨ハローレー会」の協力を得てパレードを行い、同会のメンバー十七人が愛車のハローレーで市川大門町内をパレードし、交通安全を呼び掛けました。



保育園児105人がマーチングバンド

○：諏沢

諏沢交通安全協会（深沢豊会長）は九月二十日、富士川大橋西交差点で運動出発式と街頭指導所の開設を行いました。出発式では関係者のあいさつ、パレードを行いました。



交通安全運動出発式で見事なマーチングバンドを披露する増穂町の保育園児



「交通安全の今昔」と題する講演に耳を傾ける玉穂町の高齢者

市川大門町内をパレードして交通安全を呼びかける山梨ハローレー会の人たち

制服の警察官に気づいてあわててシートベルトをする人、気づいてもシートベルトをしないまま通過しようとする人、「なぜ、シートベルトをしていないのですか」の質問に、初めて自分がシートベルトをしていないことに気づく人、「今そこから出てきたばかりだから」と言い訳する人。取り締まりのたびに見られる光景です。

シグナル

運転免許を持っている人なら誰もが、シートベルトは死亡事故を防止するために効果的であるという、着用の必要性については十分

命を守るシートベルト 着用の習慣化を推進

年、十二年に続き三年連続して全国ワースト一位という不名誉な記録となっています。

着用していれば助かったと認められる人は十人（救命率62・5%）もいました。シートベルトの着用はすべての交通のモラルの原点であり、パロメーターであ

また、毎月十四日を「シートベルト着用推進の日」として、交通安全支援要員が警察署に配置され街頭でのシートベルト着用の指導啓発活動を行っているところで



飲食店を一軒一軒回ってステッカーなどを配り、飲酒運転絶滅を呼び掛けるポケットティッシュを配布し、経営者の協力を求めました。

理解しているものと思えます。ところが、山梨県内のシートベルト着用率は、JAFの調査結果によると、昨年は67・7%（全国平均83・9%）であり、平成十

さつ、増穂町の保育園児百五人によるマーチングバンドが行われ、参加者全員で交通安全を祈願してハト二百羽を放鳥しました。また、通行車両にシートベルト着用・交通安全を呼び掛けました。

各支部で街頭啓発 登下校時の指導も

○：南部

南部交通安全協会（依田倉蔵会長）は、通行車両の交通安全指導を重点として管内各

支部で街頭指導所を開設、連日、交通安全啓発品・チラシなどを配布して呼び掛けを行いました。

飲酒運転の追放 飲食店呼びかけ

○：甲府

甲府交通安全協会（保坂輝行会長）は、秋の全国交通安全

全運動の初日、無事故の祈願をこめ運動出発式を開催しました。出発式には甲府市、敷島町の交通対策協議会をはじめ交通関係団体から約百人が参加し式典を行った後、平和通りでパトカーを先頭にパレードを行いました。

交通安全の今と昔 高齢者向けに講演

○：南甲府

南甲府交通安全協会（山下讓二会長）は九月二十四日、玉穂町生涯学習センターに町内の高齢者約七十人を集め「交通安全今昔物語」と題して高齢者交通安全講演会を開催しました。

信玄公宝物館長が写真をまじえて樺道などの軍用道路と現代の道路及び交通状況に関する講演も行い、また交通安全ビデオ「大岡越前」を鑑賞しました。

高い無事故率

早く優しい地元のための教習
富士吉田交通安全協会経営
山梨県公安委員会指定

岳麓自動車 公認教習所

富士吉田市新西原5-5-1
☎0555-22-1689
普一・二、大型一・二、大特、けん引
自二（合宿施設有）

最優秀に小俣朝美さん(平和中)

県中学生交通安全弁論

16人、体験踏まえ熱弁

第四十四回山梨県中学生交通安全弁論大会(県警、県交通安全協会共催)が十月十一日、甲府市の県立勤労青年セ



各地区代表16人が熱弁を振るった県中学生交通安全弁論大会

ンターで開催されました。県内十五管管内の地区大会で優秀な成績を収めた十六人の代表が出席しました。審査の結果「一人一人の小さな意識から」の演題で発表した上野原町立平和中三年、小俣朝美さんが優勝し、平和中は二年連続の優勝の栄冠に輝きま

した。各出場者は五分の持ち時間で、自らの体験などを通じて得た交通安全のあり方について、中学生の目線で交通安全を訴えていました。受賞者は次の通りです。

- △優勝▽山梨県知事賞 小俣朝美(平和中三年)
- △準優勝▽山梨県議会議長賞 山本一八(松里中三年)
- ▽山梨県教育長賞 高木あゆ美(甲府南中三年)▽県警本部長、県安協会会長 羽田恵美(明見中三年)
- △優秀賞▽田中杏奈(長坂中) 木下澄香(丹波中) 藤原真澄(増富中) 坂本ゆかり(大月東中) 早川美里(山梨北中)
- △佐藤純香(都留第二中) 佐野友軌(万沢中) 渡邊智美(久那土中) 山本英樹(石和中)
- △山田沙織(甲府北中) 堀内綾香(白根御勅使中) 川崎宙映(中富中)

受付時間、持参する物:

免許更新は確認を

- 県安協だより
- 安全運転学校では、運転免許の更新手続きを行う際に、次の注意事項を確認するよう呼びかけています。
- ① お手元にある更新連絡書(ハガキ)の内容を必ず確認し受付時間などを間違えないようにお願いします
 - ② 優良運転者▽受付時間 8時30分~10時20分、13時~14時30分
 - ③ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間
 - ④ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間
 - ⑤ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間
 - ⑥ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間
 - ⑦ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間
 - ⑧ 優良運転者▽講習時間 午前13時40分~講習時間 午前13時40分~午後1回各2時間

県中学生交通安全弁論の最優秀作品

私の母の実家では、祖父と母の兄がタクシー会社を営んでいます。タクシーの運転手という職業は、お客さんの命を預かるという責任の大きい仕事です。事故を起こさないためには、いったいどのようなことをしているのでしょうか。

毎朝の車の整備や適性検査に受かることなど、徹底した自己管理が大切だ。おじはそう答えてくれました。

「お客さんを目的地まで無

一人一人の小さな意識から

上野原町立平和中3年 小俣朝美

小俣朝美



中学生の私は、身内の大人が運転する車に乗っている時にこういう言葉を何度か耳にしたことがあります。確かに人間は誰かという緊張感が生まれて一つのことに集中しやすくなると思います。特におじのようにお客さんの命を預かるのであれば、安全運転をしようと思えるからです。つまり、一人なら気をゆるめていいなどということ考



安全運転学校の交通安全講習



都留分校の高齢者教室

どについて事例を示しながら説明し、参加者から、交通安全の必要性とともに覚せい剤使用の恐ろしさがよく理解でき、有意義だったと大変な好評を得ています。

講習開催希望のある場合は、山梨県交通安全協会(055-2337-7827)までお問い合わせください。

高齢者対象に教室

安全運転学校都留分校

高齢者の痛ましい交通事故を防止するため、安全運転学校都留分校では、八月三十日、十一月三日、十一月十三日に分け、約二百人の高齢者を対象に、大月市が主催した高齢者交通安全教室で歩行者、自転車、および自動車運転者としての交通安全について講話し、高齢者の交通事故防止を呼び掛けました。

安全運転学校では、更新講習を受講していない方は高齢講習を受講してきてください。

④ 土曜日、祝日、振替休日、年末年始は更新が出来ません

⑤ 問い合わせ先 安全運転学校本校(八田村) 電話055-285-1122、都留分校電話0554-43-0031

原付バイクの運転 高校生向けに講習

山梨自動車学校

山梨自動車学校(県安協経営)では、地域の交通安全センターとしての役割を担うため、高校生を対象に原付講習会を開き、正しい交通ルールとマナーを身につけて安全で快適な通学が出来るような活動を推進しています。

講習では「今日の交通社会」に適応するために実技偏重に陥らないように、安全運転に

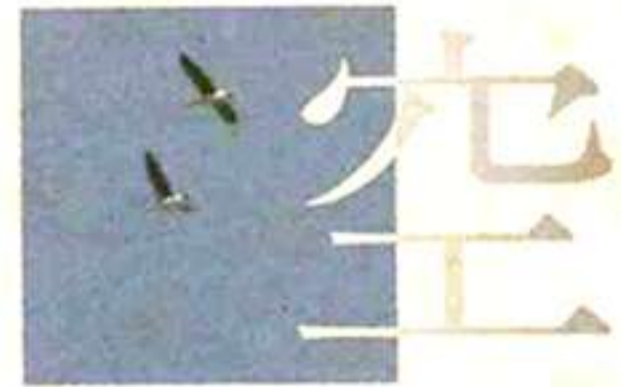
自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう

損害保険代理店 株式会社 **たいよう共済山梨支店**

甲府市丸の内二丁目32-13
日東ビル4階
TEL055-228-0691

県トラック協会

運びます 地球の未来へ
緑豊かで きれいな自然



きれいな空気、おいしい水、豊かな恵みをもたらしてくれ
る大地。人が、動物が、植物
が、みんなこのすばらしい地
球の環境に包まれて生きてい
ます。
人々の豊かな生活と、素晴
らしい環境を次の世代にも届
けるために、私たちは、いま
出来ることからアクションを
始めています。この先もずっ
と人と自然が共存できる、緑

豊かな地球であるように。
山梨県トラック協会(電話
055・262・5561)

県タクシー協会

関東地区ハイヤータクシー
協議会は十月十八日、甲府富
士屋ホテルで平成十四年度の
通常総会を開催し、関東一都
七県から事業者約二百三十人
が出席しました。総会では、
十三年度の会務報告・決算報
告と、規制緩和に伴い業界が
一丸となって、利用者へのサ
ービス向上に努めることを基

交通事故絶滅決議を採択

本とした本年度の事業計画案
・予算案を承認するとともに
「タクシーの新制度と最近の
交通安全」をテーマに、
安全運転思想の啓蒙に努め、
安全運行の励行、運行管理の
徹底など交通事故防止対策の
強化・充実を訴える「交通事
故絶滅に関する決議」を採択
しました。
また、国土交通省関東運輸
局の内田自動車交通部長が
「タクシーの新制度と最近の
交通安全」が強化されまし
た。
これから忘年会
・新年会などでお
酒を飲む機会が多くなりま
す。お酒を飲んだときは、「安
全・安心・保障」のタクシー
代行をご利用ください。

県バス協会

九月二十日はバスの日で
す。日本バス協会と各都道府
県バス協会は、皆様にバスの
良さを知っていただくために
毎年さまざまなイベントを開
催しています。
山梨県バス協会では今年初
めてのイベントとして「貸し
切りバスで行く東京デイズニ

「バスで行きましょ!」

「ランドご招待会」を実施し
ました。約五百通に上る応募
のなかから、抽選で二十五組五
十人の皆様が当選されまし
た。
当日は晴天に恵まれ、初秋
のなかから、幅広い層のお客様が一
緒に旅行したり、集合場所か
ら目的地まで、乗り換えの心
配もなくゆったりと過ごせる
ました。
一日、楽しい思い出を作っ
ていただけたことと思いま
す。
小さなお子さんとお母様、
高校生やご年配のお友達同士
も貸切バスならではの。この
旅行で、参加者の皆様がバス
の良さを感じてくださったと
すれば幸いです。
来年は、バス事業が開始さ
れて百周年の記念
すべき年。これを
機会に初心にかえ
り安全第一を肝に命じて、事
業者一同、より一層皆様に愛
されるバスを目指してまいり
ます。

自動車安全運転センター

安全運転中央研修所(茨城
県ひたちなか市)は、スキッ
ドコース(滑りやすい路面)

での横滑りやスリップ、高速
周回路での急制動、ハイドロ
プレーニング現象など一般の
の総合的な自動車安全運転教
育施設です。
現職の警察官、消防職員、全
国自動車教習所の指導員ら
をはじめ、一般企業・団体の
運転者、青少年から高齢者ま
での一般ドライバーを対象と
しており、年間約一万六千人
の方が研修を受けています。
あなたも一度、体験研修を
受けてみませんか。
▽研修所の見学
安全運転中央研修所の施設
見学希望は、予約
制で受け付けてい
ます。(無料)
▽問い合わせ先
詳細について
は、電話055・
285・234
5、自動車安全運
転センター山梨県
事務所またはホー
ムページ(http://
www.jsdc.or.jp/)
にお問い合わせせ
ください。



研修で運転技能アップ

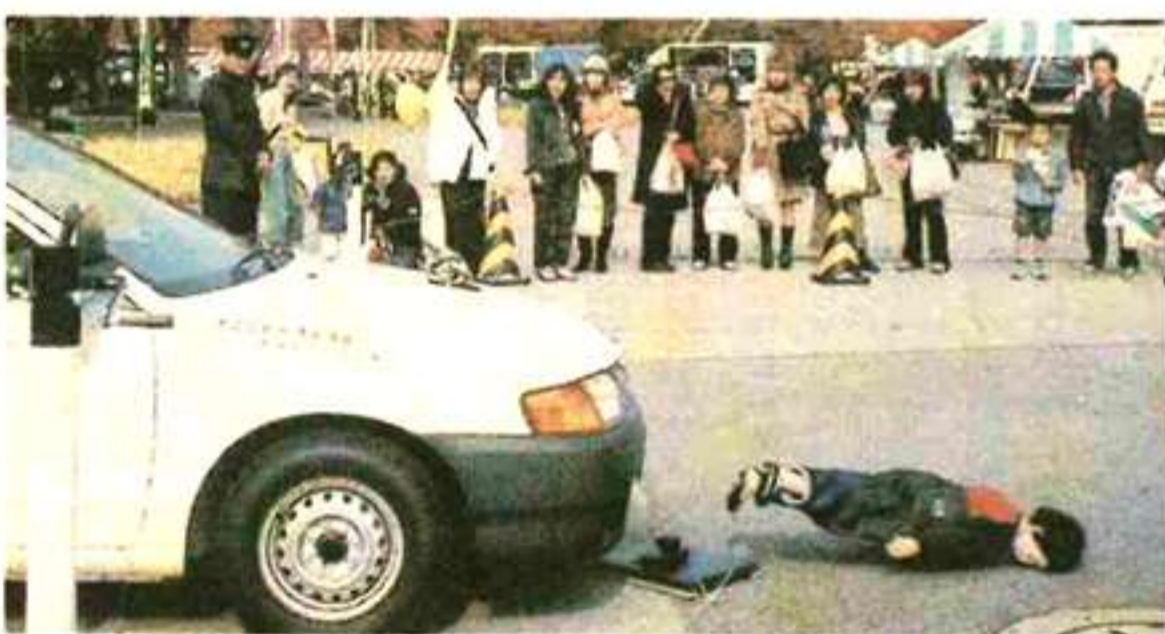
◆研修課程及び研修料金

研修課程	期間	研修料(消費税込み)円		
		二輪車	普通車	大型車
一般緊急自動車運転技能者	4日		82,000	
消防・救急緊急自動車運転技能者	4日		82,000	
安全運転実技指導員	5日		97,000	
安全運転管理者	5日		101,500	
貨物自動車運転者	4日		78,500	99,000
旅客自動車運転者(バス)	4日		79,500	100,500
一般・企業運転者	3日		51,000	
同上	2日		38,000	
同上	1日	20,500	18,500	
青少年運転指導者	4日	81,000	76,500	
青少年運転者	2日		21,000	
同上	1日	8,500	8,500	

(注)青少年運転者課程は25歳未満の方などを対象としています。

県民の日記念行事で
交通安全呼びかける
県安協がイベント

山梨県交通安全協会は十一
月十六、十七の両日、甲府・



小瀬スポーツ公園で開催され
た県主催の第十七回県民の日
記念行事へ参加しました。
記念行事には大勢の県民が



集まることから交通安全を訴
えるため、ファミリー人形による
衝突実験、幼児・児童・高齢
者に心して交通安全ぬりえ・

県交通安全協会が県民の日記
念行事に参加して行ったイベ
ント。ファミリー人形の衝突実験
(上)と綿菓子の無料配布コ
ーナー(下)
チラシ、リーフレットの無料
配布、夜間反射材の展示及び
販売、来場者に綿菓子の無料
配布を行いました。
当日は天候にも恵まれ大勢
のおじいちゃんおばあちゃ
ん、親子連れが県安協のコ
ーナーに足を運び、交通安全に
ついて考え話し合い、楽しい
時を過ごしました。来場者は
人形の衝突実験を見学しては
口々に「車は怖い、交通ル
ールを守ろう」と感想を述べて
いました。